



2024年8月14日

各 位

A b a l a n c e 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 光 行 康 明
(コード番号：3856 東証スタンダード)
問 合 せ 先 : IR・経 営 企 画 室 長 山 崎 伸 彦
電 話 : 0 3 - 6 8 1 0 - 3 0 2 8 (代 表)

中期経営計画における数値目標の取り下げに関するお知らせ

当社グループは、本日開催の取締役会において、2023年9月22日に発表しました中期経営計画（2024-26）（以下、「中計」という。）に掲げている数値目標を取り下げること決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画（数値目標）の取り下げの理由

当社グループは、2023年9月22日に2026年6月期を最終年度とする中計を公表し、企業価値の向上を図るべくアクションプランの実現に取り組んでまいりました。

しかしながら、2024年6月期（実績）および2025年6月期（計画）の連結業績は、公表した中計策定時において想定した市場環境の前提条件が大きく変化していることから、想定した計画との差異が発生しています。この要因として、当社グループの主力事業である海外の太陽光パネル製造事業において、グローバルな供給過剰による市況低迷のほか、米国市場において、東南アジア4カ国の太陽光パネル関連製品に対する免税措置の終了（2024年6月）、通商法201条に基づく関税が課せられるほか、アンチダンピング関税、および相殺関税についても米国政府の検討が続いており、同国への製品輸出が厳しい状況になっています。加えて、米国政府による産業の保護・育成を目的としたインフレ抑制法の制定により、米国製太陽光パネルメーカーへの補助金などの支援政策もあり、米国向け販売が低迷している状況です。

中計策定において想定していた市場環境が大きく変化し、公表している中計の達成が困難であると判断したことから、中計における数値目標を取り下げることとしました。

なお、米国の太陽光市場は中長期で成長する見通しのため、当社グループとしては、太陽光関連製品の生産拠点を含むサプライチェーン確立へ向けた検討をおこないます。

2. 今後の業績見通しの開示方針について

当社グループは、引き続き成長が見込まれる太陽光パネルのグローバル市場において、市況及び政策などの市場環境変化に機動的に対応することにより、太陽光パネル製造事業の競争力あるサプライチェーン構築及び販売エリアの多角化などを推進し、事業成長を図ってまいります。

なお、新たな数値目標につきましては、合理的に算定可能となった段階で、速やかに開示させていただきます。

以 上